

「いわき市病院事業中期経営計画（2021～2024）（素案）」に対する市民意見の内容
及び意見に対する当センターの考え方

No.	市民意見の内容	意見に対する当センターの考え方
1	<p>「いわき市医療センター」「福島労災病院」を軸とした「いわき医療圏」を築くべき。</p> <p>「常磐病院」は勿論のこと、南部には「呉羽総合病院」「かしま病院」もあるため、北部・南部両拠点を確立する必要がある。</p>	<p>当センターは、市内唯一の救命救急センターを併設し、市内はもとより本県浜通り地域の三次救急医療を担っており、他医療機関と連携しながら、医療提供体制を確保しております。</p> <p>また、各地域（医療圏）における医療提供体制については、医療法の規定により、都道府県が地域医療構想を策定し、その将来像を示すことになっており、本県におきましては、平成28年12月に「福島県地域医療構想」が策定されました。</p> <p>このような状況から、当センターにおきましては、地域医療構想に示された、将来あるべき医療提供体制を確保するため、引き続き、いただいたご意見にあります病院等との連携を図りながら、病床機能の分化や役割分担を進めて参ります。</p> <p>（関連：計画本文11ページ「福島県の医療政策」、計画本文17ページ「地域医療構想について」）</p>
2	<p>医師、看護師をはじめとした、「医療従事者不足」を解消すべく、「県立医大」「医療創生大」「共立看護」「いわき准看護」「松村看護」専門学校との「人材育成」の緊密な連携は不可欠</p>	<p>当センターにおきましても、医療従事者不足の解消は喫緊の課題と認識しており、医師招聘に向けた大学医局等への積極的な働きかけ等、医療従事者の確保に向け、様々な取組を実施し、職員の増員を図ってきたほか、当センターの研究・研修機能の強化等を通じて、職員の育成にも取り組んでおります。</p> <p>また、ご指摘いただいた他機関との「人材育成」の緊密な連携に関しましても、当センターは、毎年度、県立医大をはじめ、医療創生大など、様々な医療従事者養成施設から実習生や見学者を数多く受け入れているところです。</p> <p>とりわけ医師につきましては、医学部への進学を希望する高校生等に医師の仕事について理解を深めていただくため、院長による講話や医療現場の見学、地元出身の若手医師との懇談会を実施する等、将来の地域医療を担う人材の育成にも取り組んでおります。</p> <p>これらのことから、職員の確保・育成に向けた</p>

		<p>取組状況を本文に追記しました。</p> <p>(追記箇所：計画本文3ページ「基本方針における達成状況」、計画本文32ページ「医師をはじめとする医療スタッフ等の確保・育成に関する方向性」)</p> <p>(関連：計画本文22ページ「医師の招聘」、計画本文38ページ「良質な医療の提供を支える医療スタッフ等の確保と育成」)</p>
3	<p>いわき市独自の医療ネットワークを都市部のみならず、山間部にも隈なく築き、緊急時の対応を迅速に行なって頂きたい。</p>	<p>当センターは、市内唯一の救命救急センターを併設し、市内はもとより本県浜通り地域の三次救急医療を担っております。</p> <p>また、平成28年12月に県が策定した「福島県地域医療構想」においては、いわき区域の救急医療に関し、重篤な救急患者を受け入れる（当センターの）救急救命センターがその役割を果たせるよう、医療機関は行政等と協力しながら、初期救急・二次救急医療の患者受入体制の整備等を図ることとされております。</p> <p>このようなことを踏まえ、当センターにおきましては、今後も継続して他医療機関等との連携強化を図りながら、緊急時の対応について適切に対応して参ります。</p> <p>(関連：計画本文16ページ「救急医療の推移」)</p>
4	<p>(計画について)よくできていると思います。</p> <p>高額医療機器の導入や購入などについてはどうなっているのかと思いました。</p>	<p>新病院の建設を通じて、当センターは、SPECT/CT、3テスラのMRI、リニアック等の高性能な医療機器を導入し、様々な診療機能の充実・強化を図るなど、高度急性期を担う地域の中核病院に相応しい医療環境を整備してきました。</p> <p>今後におきましても、当センターは、引き続き良質な医療を提供し続けていくため、医療需要や医療技術の進歩等による環境の変化を的確に捉えながら、新たな医療機器の導入等について、適切に対応して参ります。</p> <p>なお、機器の導入等に当たっては、医師をはじめ看護師などの多職種で構成される院内の委員会において、医療スタッフ等の意見を踏まえながら選定・検討することとしています。</p> <p>(関連：計画本文21ページ「新病院の整備による機能の向上」)</p>